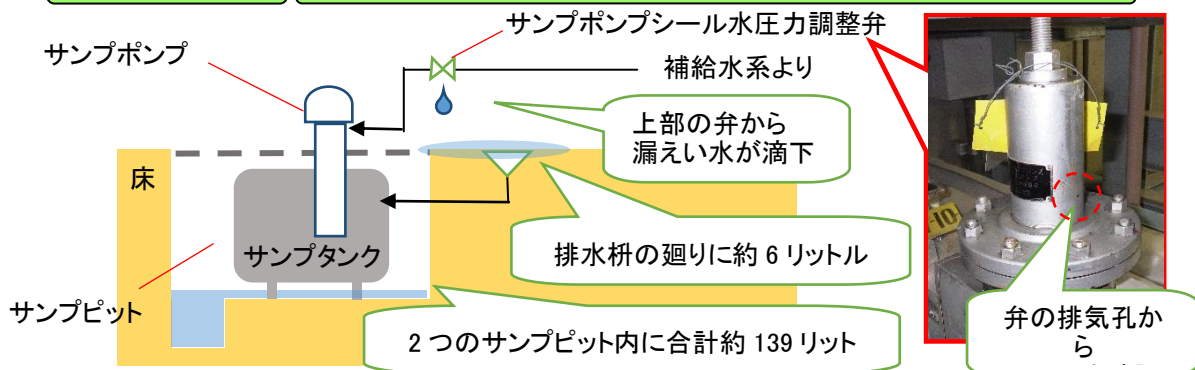


浜岡原子力発電所1号機 復水ろ過脱塩装置建屋
地下2階における水の漏えいについて

2017年2月20日

発生場所	1号機（廃止措置中） 復水ろ過脱塩装置建屋地下2階（放射線管理区域内）
発生日	2017年2月19日
状況	<p>2017年2月19日16時50分、1号機復水ろ過脱塩装置建屋地下2階で水の漏えいを検知する警報が点灯したため、当社社員が現場を確認したところ、薬液ドレンサンプタンク（注1）付近の床にある排水枡の廻りに約6リットルの水溜りを確認しました。また、当該場所の上部に設置している薬液ドレンサンプポンプのシール水（補給水（注2））圧力調整弁（注3）の排気孔から水が漏えいしていることを確認したため、17時20分頃、当該弁の上流の弁を閉弁し、漏えいが止まることを確認しました。</p> <p>その後、漏えいがあった場所の周囲を確認した結果、付近にある2つのサンプピット内に合わせて約139リットルの水溜りを確認しました。</p> <p>また、床等の溜まり水に含まれる推定放射エネルギーは、排水枡から薬液ドレンサンプタンクへ流入した分を考慮しても、最大で約1万9千ベクレル（国への報告基準370万ベクレルの約200分の1）でした。</p> <p>なお、床面の溜まり水は拭き取りが完了しており、サンプピット内等の水については、準備ができ次第、液体廃棄物処理系にて適切に処理をおこないます。</p> <p>今後、当該弁から水が漏えいした原因を調査し、適切に対応してまいります。</p>
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
お知らせ基準	<p>運転情報「表1-2 管理区域内において、放射性物質を含む機器等からの水の漏えいを発見したとき。（但し、1リットル程度に至らない微少な漏えいを除く。）」に該当します。</p>



- 注1 薬液ドレンサンプタンクは、放射線管理区域内で発生する廃液のうち、床に漏えいした水等を収集するタンクで、廃止措置段階においても使用しているものです。
- 注2 補給水は、発電所の運転に再利用している水で、液体廃棄物処理系等で処理した水です。
- 注3 ポンプシール水は、外側から水圧をかけることにより、ポンプ内の廃液等が軸部から漏えいすることを防ぐための水です。圧力調整弁は、ポンプへ送るシール水の圧力を調整するための弁です。

<2017年5月10日追記>

続報はニューシアで公開しております。（ニューシアの当該ページは[こちら](#)）

以上